

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	関市	学校名	関市立津保川中学校			
校長名	熊崎 康文	対象学年	全校生徒	人数	79	人
活動名	中学生が行う地域活性化「夢活」(全校)	時間数	190	時間	継続年数	2年
題材	1 自然環境(山野・河川・動物・植物・その他) [] 2 歴史(出来事・史跡・先人・その他) [] 3 文化(芸能・芸術・民話・風習・その他) [] 4 地場産業(農業・水産業・伝統工芸・その他) [] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [中学生が担う津保川地域の活性化] 6 その他() []					
複数年継続するための工夫改善	○職員が地域のよさを共有するために、毎年4月第1回職員会の後、全職員で地域の名所や重要文化財を回る研修を企画している。 ○「夢活」(総合的な学習の時間)の3年間を見通したカリキュラムを作成しており、5月と9月にカリキュラムを見直す研修を行っている。					
<p>1 ねらい 生徒が命名した「夢活」(総合的な学習の時間)を3年間見通して指導することを通して、地域のよさや地域で暮らす人々の考え方に触れ、地域に愛着をもち地域を活性化しようとする生徒を育てる。</p> <p>2 活動の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通したカリキュラムの作成 ・定期的なカリキュラムの見直しによるPDCAサイクルの実践 ・1年生 地域を知る活動と地域に伝わる昔話の紙芝居化 ・2年生 宿泊研修と職場体験学習を関連付け、地域の産業を学ぶ学習 ・3年生 修学旅行と地域に貢献する活動を通して、中学生なりに地域活性化に参画する実践 <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <p>①地域探索を通して地域の方から話を聞き、地域の方が大切にしている生き方に触れると共に、地域のよさを広めるPR動画を作成し上映会を行った。</p> <p>②武儀の昔話、上之保の昔話を作成した地域の方々に紙芝居の作成にかかわっていただき、地域の催しや保育園、小学校での披露。</p> <p>③職場体験学習を通して地域の方とふれあうと同時に、地域の産業について学ぶ。</p> <p>④修学旅行において地域のPR活動を行う際「道の駅」や「かみのほゆず株式会社」など、地域の方に商品協力していただく。</p> <p>⑤3年生の地域を活性化する活動「夢プロジェクト」において、地域の方と共に活動したり、地域の方を招待して意見を聞いたりして中学生なりの地域参画を進める。</p> <p>4 活動を通しての児童生徒の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と共に活動したり、ふれあったりする中で、地域のよさや人々の考え方にふれ地域に愛着をもつことができた。 ・地域参画を進める中で、地域の課題点に気づき、その課題点を改善するために自分たちは何ができるか主体的に考えるようになった。 						